

水環境マネジメント検討会の設立趣旨について

我が国の下水道等汚水処理施設は人口の 9 割近くをカバーするに至っており、維持管理、処理場改良、処理区再編、改築等の重要性が高まっている。今後の下水道計画においては、人口減少等の大きな社会変化を時系列的にとらえた上で、既存の資産を最大限活かした処理場改築・高度処理化などに効率的に対応していく必要がある。公共用水域の水環境は一定の改善が進んできたが、閉鎖性水域における赤潮、青潮等は依然発生している反面、地域の実情に応じた栄養塩類の循環バランスの回復・向上が求められていること、水質環境基準について新たな項目設定が進みつつあること、さらに低炭素化・資源循環への社会的要請など、多様化している水環境の状況、社会情勢を把握した上、流域全体を視野におき、対応方策を検討し施策を立案する必要がある。

また、流域別下水道整備総合計画は流域管理の主要計画であるとともに、下水道施策の根本であり、創設から 40 年を経過しているが、水環境と下水道を関係づける役割は今後も重要である。計画の機動化、作業の効率化、水環境改善 PR などにも配慮し、時代に応じた見直しを行い活用していくことも有効であると考えられる。

本検討会は、社会情勢の変化をふまえた上、水環境の改善に向けたより効果的・能動的な下水道等管理の実現に向け、新しい時代の水環境マネジメントのあり方を検討するものである。

(別 紙)

水環境マネジメント検討会委員

(敬称略)

(有識者)

	所属
齋藤 利晃	日本大学理工学部土木工学科教授
高橋 正宏	北海道大学工学研究院環境創生工学部門教授
田中 宏明	京都大学大学院工学研究科教授
福士 謙介	東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授
吉村 千洋	東京工業大学大学院理工学研究科准教授

(自治体)

	所属
須藤 喜弘	埼玉県下水道局下水道管理課長
渡辺 志津男	東京都下水道局施設管理部長
小浜 一好	横浜市環境創造局下水道施設部長
久保 裕志	愛知県下水道課長
大屋 弘一	大阪府下水道室長
戸島 透	兵庫県下水道課長

(特別委員)

	所属
北村 匡	環境省水・大気環境局水環境課長
小池 剛	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長
岡久 宏史	国土交通省水管理・国土保全局下水道部長
堀江 信之	国土交通省国土政策総合研究所下水道研究部長
櫻井 克信	全国上下水道コンサルタント協会専務理事
藤木 修	水分野国際標準化戦略検討委員会下水道部会長
佐伯 謹吾	日本下水道協会常務理事
高島 英二郎	国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官

※各回の議題に応じて臨時の委員を選任できるものとする。

※必要に応じて委員の補充等を行うものとする。